

農業・農村経済学プログラム プログラム専門科目

区分	英語対応	科目名（単位）	授業の概要
プログラム専門科目（基盤科目）		農業・農村経済学 （1単位） Agricultural & Rural Economics	農業・農村経済学を構成する専門領域の理論と問題構図を今日の食料・農業・農村問題に引きつけて講義する。農業・農村経済学を中心に関連する社会科学分野の現代的課題を整理して講義すると共に、修論作成のための基礎的視点と分野間の関連領域相互の関係構図の理解を高める。
		農法論（1単位） Theory of Agriculture	農法論に関する文献の輪読を通じて、農業生産力の社会経済的構造に目を向ける能力を養い、社会経済的・環境的に公平で公正かつ持続的な農業・食料システムの構築に向けた展望について考える力を身に付ける。
		農村地理学（1単位） Rural Geography	農村地域そのものを取り上げ、地形図や空中写真の読図、統計の活用、GISによる地図作成、現地踏査を通じて自然的特性、社会経済的特性について学ぶ
		農業・環境・地域と社会的課題（1単位） Sustainable Agriculture and Rural Development	農業・農村経済学を構成する専門領域の理論と問題構図を講義する。農業・環境・地域に関する社会科学分野の現代的課題を整理して講義すると共に、修論作成のための学術的視点や実践的手法の理解を高める。
		戦略と制度設計の経済学（1単位） Economics of Strategy and Institutional Design	農業・農村経済学プログラム教員によるオムニバス形式の授業を行うことにより、近代経済学および農業経営学に関する課題・研究手法を横断的に身につけ、現場で活用するための知識の習得を目指す。
プログラム専門科目（応用科目）	○	応用マーケティング論 （1単位） Advanced Marketing	応用的なレベルのマーケティング、特にブランドに関する理論・知識の習得を目指す This course aims to provide an advanced understanding of marketing, focusing on theories and knowledge related to branding.
		社会的企業論（1単位） Social Enterprise theory and cases	経済的利益と社会的利益の両方が期待できるソーシャルビジネスを農村地域資源の持続的管理のための手法として講義する。理論的整理に加えて、具体的なデータを用いて事例分析も行う。
		フードシステム学 （1単位） Food System	応用的なレベルでのフードシステム学に関する理論と知識の習得を目指す。

区分	英語 対応	科目名（単位）	授業の概要
プログラム専門科目（応用科目）	○	食と農の地理学（1単位） Geography of agriculture and food	The course introduces the fundamentals of agricultural economics and management. It covers concepts such as food systems, food networks, food chains, alternative food, and food security.
		農村金融論（1単位） Rural Finance	金融の基礎的な用語や理論、わが国の農業・農村金融を対象とした現状と問題点、今後の課題などを講義します。
	○	国際アグロエコロジー論（1単位） International Agroecology	<p>（The English description is provided at the end）</p> <p>この講義では、国際的なアグロエコロジーの基本的な視点や歴史、研究の展開過程について取り上げます。気候変動と食料・農業の関係や持続可能な農業、食料システムの潮流を紹介しつつ、アグロエコロジーの視点から地域の農業・農村の課題を検討します。</p> <p>講義では、食料システムを取り巻く生態学的、社会的、経済的な問題に焦点を当てながら、アグロエコロジーの基本を学びます。国際的な農業政策やグリーン経済や生物多様性に関するアグロエコロジー研究を紹介しつつ、地域の資源循環や生物多様性についても検討していきます。また世界の食料・農業システムを動かしている要因、生態学的に健全な方法で食料を生産するための様々なアプローチと実践についても分析します。</p> <p>This course examines the fundamental perspectives, historical background, and development of research in international agroecology. While introducing current trends related to climate change, food and agriculture, sustainable agriculture, and food systems, the course explores challenges facing local agriculture and rural communities from an agroecological perspective.</p> <p>Focusing on the ecological, social, and economic issues surrounding food systems, the course provides an overview of the basic principles of agroecology. In addition, it introduces international agricultural policies and research on biodiversity, as well as regional resource circulation and biodiversity conservation.</p>

区分	英語 対応	科目名（単位）	授業の概要
プログラム専門科目	○	農業・農村経済学特別演習（4単位） Advanced Seminar in Agricultural and Rural Economics	主指導教員と副指導教員は、農業・農村経済学の分野に関連する学生の研究テーマ・修士論文に即して、ディスカッションやリサーチワーク（先行論文考察、実験、データ解析、フィールド調査設計、など）等を行い、専門知識・技術の深化を図る。なお、境界領域・学際的領域の観点からコミュニティデザイン学分野・グローバルエリアスタディー分野に関するディスカッション等も含む。
	○	農業・農村経済学特別研究（6単位） Advanced Research for thesis in Agricultural and Rural Economics	「農業・農村経済学特別研究」は、修士論文研究の遂行過程を総合的に評価して単位を認定するものである。農業・農村経済学プログラムを専攻する学生の研究テーマは、食料分野、農業分野及び農村分野と広範囲に渡るため、授業内容の詳細は研究テーマに合わせて個別に設定される。修士論文の作成にあたっては、まず研究テーマを決定し、研究内容を十分に把握した上で、到達目標に向けた種々の内容を、研究の進行状況に応じて指導教員の適切な指導のもとに実施するとともに、研究者として必要な倫理観を養成する。なお、境界領域・学際的領域の観点からコミュニティデザイン学分野・グローバルエリアスタディー分野に関するディスカッション等も含む。成果は随時とりまとめ、主としてゼミナール形式で指導教員に報告する。2年次前期終了時には、プログラム担当教員の参加のもと、研究成果の模擬報告・発表を行う。